

達成度：H24.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

## 住民協働課の目標（平成23年度）自己評価書

住民協働課長 岡野 義広

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p><b>1 住民活動団体の支援</b></p> <p>地域の活性化や課題等に取り組むための、住民団体等の自由で自発的な公益活動に対する住民提案型の住民公益活動補助金の交付や、井戸端（酒々井町交流サロン）・ミーティングルームなど活動拠点の支援により住民活動団体の活性化を図るとともに、住民活動団体交流会を通じてその活動状況を広め、団体どうしの連携強化を図ります。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民公益活動補助金を8団体へ交付しました。</li> <li>・交流サロンの利用率が上昇しました。</li> <li>・住民活動団体交流会を年間2回開催し、延べ42名、23団体の参加がありました。</li> <li>・社会教育課と「盛年式」を開催、交流会から9団体の紹介等を行いました。このことにより、各団体の活動を町民にPRをすることができ、各団体間の連携を図ることができました。</li> </ul>
<p><b>2 住みよい地域づくりの推進</b></p> <p>もっとも身近な住民組織の自治会等と行政は、地域住民の住みよい環境をつくるという目的を共有しており、住民と行政との協働による地域づくりを一層推進していくため、自治会等の運営について支援します。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域に地域担当員を配置し、住民と行政の緊密な関係が築けました。</li> <li>・各自治会に自治振興助成金を交付しました。（41団体）</li> <li>・行政連絡員を各地域（39地区）で委嘱し、自治会と行政のパイプ役として活動していただきました。</li> </ul>
<p><b>3 協働意識の普及と啓発</b></p> <p>公共や公益を担い支えるのは行政だけではなく、住民等との協働のうえに成り立つという意識を持ち、協働のまちづくりへの理解を深めるための講演会や研修会を実施します。</p> <p>また、住民と行政の協働活動として、公園等愛護活動推進事業や資材等支給事業を推</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働のまちづくりを推進するため、講師（千葉県環境生活部県民交流・文化課職員矢野孝宏氏、ちば市民活動・NPO市民事業サポートクラブ牧野昌子代表理事、I I H O E代表者川北秀人氏）による協働のまちづくり研修会を4</li> </ul>

<p>進めます。</p> <p><b>4 高齢者・団塊世代の生きがい就業支援</b>  高齢者や団塊の世代の社会参加と生きがい就労を目的とした「酒々井町シルバー人材センター」の運営を支援します。</p> <p><b>5 男女共同参画社会形成の促進</b>  男女共同参画社会形成についての理解を深めるため、県から委嘱される地域推進員と協力して啓発事業や情報提供を行い、男女共同参画社会形成への意識を高めていきます。</p> <p><b>6 地区集会所等への補助</b>  各地区の集会所等に対して管理費、修繕費、増改築費、建築費を補助します。また、平成23年度は尾上青年館の建替えについて建築費の補助をします。</p>	<p>回開催しました。</p> <p>4  ・住民と行政の協働活動として、①地域の公園等の環境美化を目的とした公園等愛護活動を実施、公園数11か所10団体の協力を得られました。②町が資材及び機材等を支給し、認定外道路や水路補修などを地域住民自らが施行する資材等支給事業は、1地区は長年認定外道路の理由で道路整備が遅れ、併せて生活排水の処理などにも苦慮しました。もう1地区は軟弱な道路の為、雨天時通行もままならなかった地域で、両地域とも本事業の導入により格段の環境改善と併せて地域連帯感の向上に繋がったものと考えます。</p> <p>4  ・補助金として140万円を交付しました。</p> <p>4  ・千葉県男女共同参画地域推進員北総地域セミナーの参加運営協力をしました。</p> <p>4  ・各地区集会所に対して管理費補助金を交付しました。  ・震災の修繕として馬橋ネオポリスコミュニティセンター、馬橋青年館、伊篠新田コミュニティセンター、東酒々井コミュニティセンター、通常の修繕として新堀青年館、中央台集会所、トケ崎青年館、下台青年館、上本佐倉五良青年館（計9か所）に修繕補助金を交付しました。</p>
---	--

<p><b>7 チャレンジ目標</b></p> <p>① 協働のまちづくりの中長期目標として、住民の自主的な公益活動の環境づくりや、協働の指針づくり等を含んだこれからの酒々井町の協働のあり方について住民と共に検討していきます。</p> <p>② 町の地域資源を活用した酒々井ブランド商品の創出や地域のイメージアップ向上を目指して、「酒々井ブランド創出会議」による町の活性化を検討します。</p>	<p>4</p> <p>4</p>	<p>・尾上青年館建て替えについての建築補助金を平成23年度に交付しました。</p> <p>・協働のまちづくりを推進するため、講師（千葉県環境生活部県民交流・文化課職員矢野孝宏氏、ちば市民活動・NPO市民事業サポートクラブ牧野昌子代表理事、I I H O E代表者川北秀人氏）による協働のまちづくり研修会を4回開催しました。</p> <p>・商工会、郷土愛護団体、農業団体が「ブランド創出」という目標に協働事業として取組み、「酒々井町を元気にするきっかけづくり」が出来、来る平成25年春開通の酒々井I Cや酒々井アウトレットモールの開業に合せ酒々井町を訪れる方々に対し、町の商工業や飲食、観光、特産品を広く紹介し、地域産業の発展と町のイメージアップに寄与することを期待します。併せて、本事業の導入により失業者2名の雇用が実現しました。</p>
---	-------------------	---